

《担当者名》○鎌田樹寛 t.kamada@hoku-iryo-u.ac.jp 本家寿洋 近藤里美 坂上哲可 浅野雅子 浅野葉子 朝日まどか
西出真也 児玉壮志 桜庭聡 山田桃子 依田泰知 齋藤隆司

【概 要】

4年間の学修総括として、作業療法およびリハビリテーションに関する知識と技術を整理し、統合的な能力を培う機会とする。具体的には、教科書や参考書、国家試験過去問題などを資料として用いることや、グループワーク編成などを活用して、知識を整理しながら確実な定着をめざす。学科の全教員が担当する。

【学修目標】

【一般目標】

これまで学修した、人の機能や構造および疾患に関する知識、作業療法の意義や目的に基づく適用方法の知識、そして評価法や基本的治療介入技術の知識などを定着させ、統合的な作業療法実践に活用できるようになる。

【行動目標】

1. 人の機能や構造および疾患に関する知識を説明できる
2. 作業療法の意義や目的に基づいた作業の適切な適用方法に関する知識を説明できる
3. 作業療法の評価法や基本的な治療介入技術に関する知識を説明できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	国家試験対策に向けた学修の進め方に関する説明	全担当教員
2	身体障害領域の作業療法	脳血管障害・神経変性疾患・悪性腫瘍の作業療法評価および治療法の知識を整理する。	本家寿洋
3	日常生活援助関連の作業療法	日常生活活動の知識を整理する。特に評価法や各疾患に対応した日常生活活動の工夫、自助具の選択について復習する。	朝日まどか
4	義肢装具関連の作業療法	義肢装具関連の知識と技術を整理、統合 補装具（自助具）の構造と機能、また補装具の作成、装着、適合判定と各種障害に適した補装具処方についての基礎知識について復習する。	坂上哲可
5	高次脳機能障害関連の作業療法	高次脳機能障害関連の知識と技術を整理、統合 発生機序、画像診断、症状、評価、治療プログラムの立案までの基本的知識について復習する。	齋藤隆司
6	発達領域の作業療法	発達障害領域における作業療法について、対象疾患の基礎知識を復習し、疾患に応じた評価および治療についての知識の整理を行う。	依田泰知
7	精神障害領域の作業療法	精神障害領域の作業療法に関する基礎知識の整理と統合をふまえ、精神疾患患者への作業療法に関する症状や評価、治療プログラムの立案などの知識と技術を整理・統合する。	浅野雅子
8	精神障害領域の作業療法 老年期領域の作業療法	精神障害領域の作業療法に関する基礎知識の整理と統合をふまえ、精神疾患を有する方への作業療法に関する症状や評価、治療プログラム立案などの知識や技術を整理・統合する。 老年期障害領域の作業療法に関する基礎知識の整理と統合をふまえ、老年期の方への作業療法に関する症状や評価、治療プログラム立案などの知識や技術について、振り返る。	浅野雅子 鎌田樹寛
9	前半講義のまとめ	国家試験出題範囲に準拠した内容として確認を行う。	全担当教員
10	身体障害領域の作業療法	心電図の見方を中心に心臓リハビリテーションについて学ぶ。	桜庭 聡
11	地域領域の作業療法	地域領域の作業療法に関する知識の整理と統合	浅野葉子
12	精神障害領域の作業療法	精神障害領域の作業療法に関する知識の整理と統合	児玉壮志
13	作業療法の管理・運営・関係法規及	作業療法の管理・運営・関係法規及び基礎作業に関する	本家寿洋

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	び基礎作業	る知識を整理する。	
14	身体障害領域の作業療法 老年期領域の作業療法 職業リハビリテーション領域	脊髄損傷に関する評価および治療の知識を整理する。 老年期障害領域の作業療法に関する基礎知識の整理と統合をふまえ、対象者に関する症状や評価治療プログラム立案などの知識や技術について、振り返る。 就業支援を必要とされる対象者への作業療法並びに関連職種で活用されている評価、治療プログラムの立案などに関する知識や技術を整理・統合する。	坂上哲可 鎌田樹寛
15	作業療法研究法 作業療法概論 本講義のまとめ	作業療法研究法に関する基本的な知識を整理する。 作業療法概論に関する基本的な知識を整理する。 まとめ	鎌田樹寛

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

中間試験 40%

定期試験 60%

【教科書】

適宜資料を配布する。

【参考書】

必要があれば、周知する。

【学修の準備】

- ・4年間の総まとめであることを理解し、能動的な参加を求める（予習・復習各80分以上）
- ・必要があれば、担当教員へ報告・連絡・相談を怠らないこと

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【その他】

クリッカーを活用し、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する。

【実務経験】

鎌田樹寛 本家寿洋 浅野雅子 坂上哲可 浅野葉子 朝日まどか 児玉壮志 桜庭聡 依田泰知 齋藤隆司（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での臨床経験を活かし、講義を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している